

デジタルプレゼンター

[™] AV-P960







お買い上げありがとうございます。 ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」 をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお 使いください。

そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読 みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際 は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造 番号と保証書に記載されている製造番号が一致している かお確かめください。

特長



✔ なめらか高画質

XGA、20fpsの高速フレームレートにより、なめ らかな高画質を表示できます。

✓ 高品位高倍率ズーム

光学ズーム16倍(レンズ12倍、伸縮アーム1.4倍) およびデジタルズーム6倍を搭載しています。

✓ 小型軽量薄型

最大画角がA3横相当(400mm×300mm)であ りながら奥行き50cm以下、重さも5.6kgと軽量 です。

SDカードスロット搭載

カメラ画像の保存やデジタルスチルカメラで撮影 した画像(Exif形式)出力などの多採なプレゼンテ -ションを実現する大容量高速SDカード対応の メモリースロットを搭載しています。(SDカード は別売)

✔ 多彩なインターフェース

USB端子とRS-232C端子を搭載しています。

✔ 反射式拡散照明搭載

サイド照明にステージ全体の均一照明を実現する 反射式拡散照明を搭載しています。

この取扱説明書の見かたー

■ 本文中の記号の見かた

操作上の注意が書かれています。

- ✓ 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
- ☞ 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- ●本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製などをおこ なうことは禁じられています。
- ●本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では、™、®、® などのマークは省略してあります。
- ●本書に記載されたデザイン、仕様、その他内容については、改善のため予告なく変更することが あります。
- ●Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。
- S> : SDロゴは商標です。

もくじ

はじめに
準備
<mark>操作</mark> (基本編)
操作 (応用編)
その他

特長2
もくじ
正しくお使いいただくためのご注意4
各部のなまえとはたらき
全体図
操作部
背面部
お使いになる前に
接続10
印刷物を撮る 11
立体物を撮る
周囲を撮る
スライドフィルムを撮る
フィルムなどの透過資料を撮る 15
本機の画像メモリーに保存する16
ホワイトバランスを調整する17
設定を保存する(ユーザー設定の登録) 18
SD カードに画像を保存する19
SD カードの画像データを見る 20
SD カードの画像サイズ/位置調整21
パソコンとUSB 端子でつなぐ 22
リモコンによる操作
LCD モニターの取り付け 24
故障かな?と思ったら 25
保証とアフターサービス
仕様

正しくお使いいただくためのご注意

■取り扱いについて

 ●持ち運ぶときは、本機側面のハンドルを使ってください。 カメラヘッド、カメラアームやサイド照明部を持って運ぶと、変形や破損するおそれがあります。
 ●ハンドルを引き出すときは、ゆっくり、真っすぐ引き出してください。

■大切な撮影の場合は必ず、事前に動作確認をしてください。

■撮影内容の補償について

●本製品および、使用カードの不具合で、万一撮影や再生がされなかった場合などの撮影内容の補償については、ご容赦ください。

■著作権について

●あなたが撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

■SD カードについて

SDカードは精密な電子部品で作られています。次のような操作は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に行わないでください。

- ●端子部に手や金属で触れないでください。
 静電気によって部品に損傷が生じるおそれがあります。
- ●曲げたり落としたり、衝撃を与えないでください。
- ●熱、水分、湿気、直射日光を避けて使用、保管してください。
- ●分解や改造はしないでください。

■日常のお手入れについて

電源を切ってから電源コードを抜き、次のようにお手入れしてください。

- ●汚れを乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- ●ひどい汚れは、水で薄めた中性洗剤に布を浸して固く絞ってから汚れを拭き、乾いた布で水分を拭き 取ってください。



● ベンジンやシンナーは使用しないでください。ボディの損傷や故障の原因になります。

▶ • 化学ぞうきんや洗剤をご使用になるときには、ご使用になる製品の注意書きに従ってください。

■オートフォーカスについて

本機はオートフォーカス機能を備えていますが、被写体やカメラの設定ではフォーカス(ピント)が合わせられない場合があります。この場合は、手動で合わせてください。

オートフォーカスが合わせにくい被写体

- ●画面の輝度が極端に高い(明るい)とき
- ●画面の輝度が極端に低い(暗い)とき
- 画面の輝度が常に変化しているとき(点滅中のライトなど)
- ●コントラスト(明暗差)のほとんどないとき
- 画面上に繰り返しの縦縞パターンがあるとき
- ●画面の左右両端や上下端にのみ図や印字があるとき

■付属電源コードについて

●電源コードは、指定(付属)のものをお使いください。
 指定以外のコードを使用したり、傷んでいるコードを使用すると、火災や感電の原因となります。
 ●付属の電源コードは、本機以外の機器で使わないでください。

■省エネルギーについて

節電のため、使用しない時は本機の電源を切ってください。

各部のなまえとはたらき

全体図



① カメラヘッド

ステージ上、あるいは周囲の資料を撮ります。

2 カメラアーム

カメラヘッドをささえるアームです。立体物を撮る 場合、角度を調整します。

⑦ アームロック

カメラアームの長さを調整するときに使います。 カメラアームを伸縮させるとき、ロックを解除し、調 整位置でロックします。

4 サイド照明

ステージ面が均一な明るさとなるように調整します。

⑤ ハンドル

持ち運ぶときに、このハンドルを引き出して使いま す。使用しないときは収納してください。

⑥ バック照明

フィルムなどの透過資料を撮るとき、この照明を使います。

☞15ページ「フィルムなどの透過資料を撮る」

7 ステージ

被写体(資料)をこの上におきます。 A3横相当(400mm×300mm)まで撮影できま す。

❸ リモコン受光部

(別売)リモコンからの信号を受けます。 ☞23ページ「リモコンによる操作」

🕑 SDスロット

SDカードを挿入します。 ☞19ページ「SDカードに画像を保存する」

🛈 スライドフィルムホルダー

スライドフィルムを見るときに使います。 ☞ 14ページ「スライドフィルムを撮る」

① クローズアップレンズ 周囲の被写体を撮るときは、このレンズをはずします。

同田の板手体を取ることは、このレンスをはずしよす。 13ページ「周囲を撮る」

・・ ・・ ・

はじめに

各部のなまえとはたらき(つづき)

操作部





● [サイズ] サイズ調節ボタン

被写体に合わせて調節します。

- 拡大 : 被写体(資料)が大きく撮影されます。
 ボタンを押し続けると光学ズームの望遠端
 で一度拡大動作が止り、その後、デジタル
 ズームがはたらきます。
 (光学: 12倍、デジタル:6倍)
- 縮小 :被写体(資料)が小さく撮影されます。

2 [フォーカス] フォーカス調節ボタン

カメラのフォーカス(ピント)を調節します。

- ニカメラから遠い被写体(資料)にフォーカスを 合わせます。
- ・ カメラ寄りの被写体(資料)にフォーカスを合わせます。
- 自動:ボタンを押すとソース選択のカメラランプ が点滅し自動的にフォーカスを合わせます。 動作が終了すると、ランプは消灯します。 被写体(資料)によっては、フォーカスが合わ せにくい場合があります。
- ☞4ページ「オートフォーカスについて」

3 [明るさ] 明るさ調節ボタン

カメラ画像の明るさを調節します。

- 自動:ボタンを押すとソース選択のカメラランプ が点滅し、自動的に明るさを合わせます。動 作が終了すると、ランプは消灯します。
- ⑤ :カメラ画像を明るくします。
 ④ :カメラ画像を暗くします。

① [フリーズ] フリーズボタン

ボタンを押すと、カメラ画像が静止画となり、ランプ が点灯します。点灯中にもう一度ボタンを押すとラン プは消灯し、静止画が解除され、動画にもどります。

⑤[ソース選択]出力画像選択ボタン

背面部RGB出力端子、モニター出力端子から出力す る画像を選択します。出力選択された入力ソースの ランプが点灯します。接続された、モニターの種類に よっては、画像が出力されるまでに、少し時間がかか る場合があります。

- **カメラ** :カメラ画像を出力します。
- **外部入力**:背面部外部入力端子に入力した信号を 出力します。外部入力信号はモニター出 力端子には出力されません。
- SDカード:スロットに入れたSDカードの画像を 出力します。

IS 20ページ[SDカードの画像データを見る]

6 [照明] 照明切換ボタン

照明の切り換えをおこないます。 ボタンを押すごとに切り換わります。

サイド照明→ バック照明→ どちらも消灯

SDカードシステム

SDスロットにSDカードが入っている場合のみ、⑦~⑩ は機能します。

⑦ [サムネイル/選択] サムネイル選択ボタン SDカードの縮小画像を16分括で一覧表示します。 № 20ページ「SDカードの画像データを見る」

⑧ [記録] SDカード記録ボタン カメラ選択中にボタンを押し続けると、ランプが点 減し、SDカードに出力画像が記録されます。 № 19ページ「SDカードに画像を保存する」

③ [ページ] ページボタン

SDカードに記録された画像を選択し、表示します。 ④:一つ前の画像を表示します。 ⑤:次の画像を表示します。

● [削除] SDカード削除ボタン

選択されたSDカードの画像を削除します。 ソース選択ボタン⑤で"SDカード"が選択されてい る場合にこのボタンを2秒以上押すと、ランプが点滅 し、選択された画像が削除されます。 ☞19ページ「画像を削除する」

① [画像メモリー] 画像メモリーボタン

カメラ画像を内部の画像メモリーに保存したり、画 像メモリーに保存した画像を選択表示したりしま す。

1~3 : ボタンを2秒以上長押しすると、ボタンランプ®が点滅し、画像メモリーに保存されます。 ボタンを押すと、保存された画像を出力します。

カメラ:カメラ画像を選択します。

☞16ページ「本機の画像メモリーに保存する」

・ 2 ジェージー設定] 設定 値登録ボタン

設定値に関する設定をおこないます。

- **書き込み** :現在の設定値が登録されます。
- **ユーザー設定**:登録された設定値にします。
- 初期設定 : 設定値を初期値(工場出荷状態)に戻します。

『〒18ページ「設定を保存する(ユーザー設定の登録)」

🚯 ボタンランプ

 ●~●のボタン操作で、各種設定の動作中にランプ が点滅します。

① [ホワイトバランス] ホワイトバランス調整 ボタン

ホワイトバランスに関する設定をおこないます。 自動:ボタンを押すと、ランプが点滅し、ホワイトバ ランスをとりなおします。

- **赤** (二) : 画面全体の赤味を強くします。
- 赤 ◎ : 画面全体の赤味をおさえます。
- 青 (画面全体の青味を強くします。
- 青▽ :画面全体の青味をおさえます。

◎ 17ページ「ホワイトバランスを調整する」

● [ネガ/ポジ] ネガポジ切換ボタン

ネガフィルムを撮るとき、ネガに設定します。 ボタンを押すとネガとなります。 もう一度押すとポジとなります。 啄15ページ「フィルムなどの透過資料を撮る」

❶ [白黒/カラー] 白黒カラー切換ボタン

カメラ画像を白黒かカラーに切り換えます。 ボタンを押すと白黒画像となります。もう一度押す とカラー画像となります。

① [文字くっきり] 文字くっきりボタン 文字をくっきり、シャープにします。 ボタンを押すと文字くっきりモードになります。も う一度押すとモードは解除されます。

🚯 [画像オフ] 画像オフボタン

プレゼンテーションの開始前など、出力画像を一時 的に隠したい時に使用します。 ボタンを押すと、画像オフモード(黒画面)になり、出 力選択されているソース選択ランプが点滅します。 画像オフボタンをもう一度押すか、 または

ソース選択ボタンのいずれかを押すと、モードは解除され選択画像が表示されます。

各部のなまえとはたらき(つづき)

背面部

詳しい接続方法については、10ページの「接続」をご覧ください。





● [AC 100V] AC電源入力端子

付属の電源コードで商用AC 100V電源を入力します。

② [モニター出力] モニター出力端子 画角確認用の映像信号出力端子です。

❸ [RGB出力] RGB出力端子

RGB信号出力端子です。プロジェクターやモニターのRGB入力端子と接続します。

4 [USB] USB端子

パソコンなどと接続します。SDカードに保存した画像 データや画像メモリーなど、本体に保存された画像 データをパソコンに取り込むことができます。 ☞22ページ「パソコンとUSB端子でつなぐ」

③ [外部入力] 外部信号入力端子

パソコンなどの外部機器を接続します。操作部ソース 選択ボタンで外部入力を選択した場合に、RGB出力 端子に信号が出力されます。その場合、モニター出力 端子に出力することはできません。

6 LCDモニター取り付け金具用穴

(別売)LCDモニターを取り付ける場合に使用します。 ☞24ページ「LCDモニターの取り付け」

- 「リモート入力 (RS-232C)] リモート入力端子 本機をパソコンなどから制御するときに接続します。 お客様側でコントロールソフトを作成していただく ために、通信方法、通信コマンドについての資料を別 途用意しております。お買い上げの販売店にお問合せ ください。
- ⑧ [NTSC/PAL] NTSC/PAL切換スイッチ
 使用するモニターに合わせて設定します。

お使いになる前に

下記手順で設置してください。









- 1. 右のサイド照明を起こす
- 2. 左のサイド照明を起こす
- **3. カメラヘッド(カメラアーム)を起こす** カメラアームを持ち本体を押さえながら止まる位置まで ゆっくり起こします。
- **4. アームロックを解除する** アームロックのレバーを図の矢印の方向に引っぱりロッ クを解除します。
- **5. カメラアームを引き伸ばす** カメラアームの下部または本体を押さえながら、カメラアームの上部を持ち、止る位置までゆっくり引き伸ばします。
- **6. カメラアームを固定する** アームロックのレバーを矢印の方向に戻しアームをロックします。
- 7. カメラヘッドをステージに向ける
- ※片付ける場合は、逆の手順でおこなってくだ さい。

手順を間違えると、カメラヘッドやアームを傷つける場合があります。



カメラアームを縮めるとき、カメラアームのつなぎ 部分を手で持たないでください。手がはさまり、 けがの原因になることがあります。

- アームを前に倒した状態で伸縮させないでください。
 無理な力が加わり、カメラアームの内部をいためます。
 アームを伸縮させる場合、必ず、手順3.のように、カメラヘッド(カメラアーム)を起こしてから行なってください。
- アームを起こしたり、たおしたりする場合や伸縮する 場合、カメラヘッドを持って行わないでください。
 無理な力が加わり、カメラヘッドやカメラアーム内部をいため ます。手順3.5.は必ずカメラアームを持って行ってください。

淮

備



下記手順で接続してください。モニター出力端子は画像確認用です。



- **1.** RGB出力端子とプロジェクターあるいは ディスプレーをつなぐ。
 - 本機の出力はXGAですので、対応した機器に接続してください。
 - ケーブルは市販のD-sub15ピンケーブル(3 m以下)を推奨します。
- **2.** 必要に応じて、モニター出力端子とモニターなどをつなぐ。
- **3. 必要に応じて、USB端子とパソコンをつなぐ。** ¹³⁷22ページ「パソコンとUSB端子でつなぐ」

4. 付属の電源コードでAC電源とつなぐ。

5. 電源を入れる。

印刷物を撮る

A3横相当(400mm×300mm)の印刷物まで撮ることができます。





(例)サイズが小さい



(例)明るさが合っていない



(例)フォーカスが合っていない



(例)正しく調整

1. アーム、カメラヘッドの調整

サイズに合わせてアーム、カメラヘッドを調整します。

- 被写体の中心部にカメラヘッドがくるようにしてください。
- アームは、一番伸ばした状態でA3横相当サイズが撮れる ように設定されています。

2. 照明の調整

被写体にむらなく光が当たるように調整してください。

3. サイズの調整



被写体の撮りたい部分が画面いっぱい になるように調整します。 準

備

操作(基本編

4. 明るさの調整



画面が明るすぎたり、暗すぎる場合に調 整します。

自動ボタンを押すと、自動的に適正な明 るさに調整されます。

5. フォーカスの調整



フォーカス(ピント)が合っていない場合 に調整します。

自動ボタンを押すと自動的にフォーカス (ピント)調整をおこないます。



 印刷物の向きが、横向きとたて向きが混在する資料の場合、 どちらか一方をユーザー設定に保存しておくと便利です。
 (☞18ページ「設定を保存する(ユーザー設定の登録)」)

立体物を撮る

ステージ上に置いた立体物を撮ることができます。また、アームの角度を調整し、いろいろな角度で立体物を撮ること ができます。









1. アーム、カメラヘッドの調整

サイズに合わせてアーム、カメラヘッドを調整します。

- 被写体の中心部にカメラヘッドがくるようにしてください。
- アームは、一番伸ばした状態でA3横相当サイズが撮れる ように設定されています。

2. 照明の調整

被写体の撮りたい部分にむらなく光が当たるように調整し てください。

3. サイズの調整



被写体の撮りたい部分が画面いっぱい になるよう調整します。

4. 明るさの調整



画面が明るすぎたり、暗すぎる場合に調 整します。

自動ボタンを押すと、自動的に適正な明 るさに調整されます。

5. フォーカスの調整



フォーカス(ピント)が合っていない場合 に調整します。

自動ボタンを押すと自動的にフォーカス (ピント)調整をおこないます。

6. アームを傾けて撮る

𝔅∞∞ ● 立体物は、斜め方向から撮ると、臨場感のある画像になります。

アームを縮めた状態で立体物などを拡大して撮るとフォーカス(ピント)が合わない場合があります。この場合、フォーカス(ピント)が合う位置までアームを伸ばしてご使用ください。



カメラヘッドを回転させ、周囲の画像を撮ることができます。



1. カメラヘッドを回し、被写体に向ける

2. クローズアップレンズをはずす

ツメ部分を指で押さえて手前に引きレンズをはずします。



3. 画像を調整する

サイズ、明るさ、フォーカスを調整します。





操作(基本編)

スライドフィルムを撮る

スライド用ふち付きのスライドフィルムをカメラヘッドに直接差し込んで、撮ることができます。





1. 白い紙をステージに乗せる

スライドフィルムは、ステージ面の反射光を利用しますの で、反射率の高い白い紙(B4もしくはA3サイズ)をのせてく ださい。

2. サイド照明を調整する

ステージ面に均一に光が当たるように調整します。

3. スライドフィルムを差し込む

スライドフィルムは、マウント部が「スライド用ふち付き」の ものを使用してください。

4. サイズの調整



被写体の撮りたい部分が画面いっぱい になるよう調整します。

5. 明るさの調整



モニターなどに映し出された画像を見 ながら明るさの調整をします。

- ネガが選択されている時は、明るさの自動調節はできません。ランプが高速点滅し、操作できないことを表します。
 - ネガ状態では、明るさボタンの
 を押すと暗く、
 を押す
 と明るくなります。
 - ネガ状態では、ホワイトバランスの赤、青それぞれ、④ボタンを押すと、赤味、青味が強く、「「ダンを押すと、赤味、青味が弱くなります。

6. フォーカスを調整

フォーカス ② ⑦ボタンでフォーカス (ピント)を合わせます。



縦方向にスライドフィルムを入れた場合、マウント部が写ら ない範囲まで拡大すると、フォーカスが合いません。この場 合は、サイズを「縮小」してください。

フィルムなどの透過資料を撮る

フィルムをステージにおいて、撮ることができます。



1. 照明ボタンを押し、バック照明を点灯させる

照明ボタンは、ボタンを押すごとに切り換わります。 サイド照明→-バック照明→-どちらも消灯

2. フィルムなどの透過資料を置く

フィルムをステージの中央に置きカメラヘッドをフィルムの真上に調整します。

3. ネガ/ポジを設定

ネガフィルムの場合は、ネガ/ポジボタンを押し「ネガ」に設 定します。

4. サイズの調整



被写体の撮りたい部分が画面いっぱい になるよう調整します。



5. 明るさの調整



モニターなどに映し出された画像を見 ながら明るさの調整をします。

- ネガが選択されている時は、明るさの自動調節はできません。ランプが高速点滅し、操作できないことを表します。
 - ネガ状態では、明るさボタンの④を押すと暗く、⑤を押す と明るくなります。
 - ネガ状態では、ホワイトバランスの赤、青それぞれ、④ボタンを押すと、赤味、青味が強く、「「マンを押すと、赤味、青味が弱くなります。

6. フォーカスを調整

フォーカス (「 ボタンでフォーカス (ピント)を合わせます。

本機の画像メモリーに保存する

よく使う画像をあらかじめ本機の画像メモリーに記憶しておき、カメラ画像とメモリー画像を切り換えながら、プレゼンテーションを行うことができます。画像は3枚まで保存できます。



本機に保存された画像が表示されます。



 本機に保存した画像を呼び出すとき、画像メモリーボタンを 2秒以上長押ししないでください。画像が保存されてしまい ます。

 本機に画像が保存されてないないときに画像メモリーボ タンを押すと、黒画面となり、何も表示されません。

▲ 本機はアームを一番伸ばした状態でA4サイズたて置きが入るように設計されています。縦、横の向きが、混在する資料を
 ★モ 撮る場合、どちらか一方の向きの資料をあらかじめ画像メモリーに保存しておくと便利です。

- 画像メモリーの内容は、電源を切ると消えます。
- 画像メモリーは、新しい画像を記憶するごとに上書きされます。
- SDカードの画像データを本機の画像メモリーに保存することはできません。

ホワイトバランスを調整する

■ ホワイトバランスの自動調整

本機は自然な色あいになるよう調整されていますが、下記手順でホワイトバランスをとりなおすことができます。



1. 白い紙を置く

2. サイズを調整

画面いっぱいが白になるように調節します。

3. 明るさを調整

4. オートホワイトボタンを押す

約5秒でホワイトバランスをとりなおします。

 ボタンランプが点滅した後、消灯したら、ホワイトバラン ス完了です。

■ ホワイトバランスの手動調整

ホワイトバランスの自動調整を行っても被写体により、画面が赤っぽかったり、青っぽかったりして、色あいが悪い場合、手動で色バランスを調整できます。





設定を保存する(ユーザー設定の登録)

電源投入時およびユーザー設定ボタンを押した時に呼び出される設定を登録することができます。





1. カメラを調整する

- カメラを登録したい設定に調整します。
- ユーザー設定できるのは以下の項目です。()は工場出荷 時の値です。
 - •ズームの位置(ほぼA4縦が入る位置)
 - ・ 照明の状態(両サイド照明が点灯)
 - ホワイトバランス(サイド照明に合った値)
 - ネガ/ポジ(ポジ)
 - ・ 白黒/カラー(カラー)
 - 文字くっきり(OFF)

2. 書き込みボタンを2秒以上押す

- ボタンランプが点灯から点滅に変わり、消灯したら書き込み終了です。
- 電源を切っても書き込んだ値は消えません。

■設定を呼び出す

- 1. ユーザー設定ボタンを押す
 - 登録された値になります。

■ 設定の解除 (工場出荷状態に戻す)

- 1. 初期設定ボタンを押す
 - ユーザー設定した値を工場出荷時の値にもどします。

2. 書き込みボタンを2秒以上長押しする

ボタンランプが点灯から点滅に変わり、消灯したら書き込み終了です。

SD カードに画像を保存する

撮った画像を(別売)SDカードに保存することができます。



■・●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

移動します。

サムネイル画面で画像を削除すると、次の

画像が消した位置に詰めて表示されます。カーソルは削除した画像の次の画像に

1. カメラボタンを押す

2. SDカードを入れる

• 取り出す場合は、SDカードを一度押し込んでから取り出します。

3. 記録ボタンを押し続ける

- 記録ランプが点灯→点滅となり記録を開始します。点滅
 →点灯→消灯したら記録完了です。
- SDカードのスイッチが書き込み禁止になっているときは、記録できません。その場合、記録ボタンのランプは点滅しません。
- SDカードがいっぱいで記録できない場合は、記録ランプは点滅しません。この場合は不要な画像を削除するか新しいSDカードを使用してください。

1. 削除する画像を選択する

- ◆ (通常画面の場合)
 画像を削除するにはページ④、◎ボタンで削除したい画像
 を選択します。
- ●〈サムネイル画面表示の場合〉

2. 削除ボタンを2秒以上押す

- 削除ランプが点灯→点滅となり削除を開始します。点滅→ 点灯→消灯したら削除は完了です。(約2秒間)
- ▲ SDカードの抜き挿しや電源を切る場合は、必ず、カメラボタンを押して、出力画がカメラ映像になったことを確認し
 ★ Cから行ってください。カードの内容が破壊されたり、本機が正しく動作しなくなる場合があります。
 - SDカードは静電気に対して弱い部品で構成されています。そのため、静電気の影響により誤作動や、カードの内容が 破壊される場合があります。取扱いには十分ご注意ください。
 - SDカードを使用後は、SDカードは入れたままにせず、必ず取り出して保管してください。
 - ●記録枚数について
 64MB:約120枚、128MB:約240枚、256MB:約480枚
 - SDカードはPanasonic製64MB、128MB、256MBのご使用を推奨します。

操作(応用編

SD カードの画像データを見る

SDカードに保存した画像を見ることができます。



- 取り出す場合は、SDカードを一度押し込んでから取り出します。
- ∞∞∞ 本機は、デジタルスチルカメラで撮影した画像(Exif形式)に対応しています。 XE,
 - (全てのExif形式には対応していません。)
 - 他の形式データを表示させようとすると、出力画像は黒もしくは、灰色になります。
 - ●他の形式のデータでも、変換ソフトを使用することにより、本機で表示できる画像データに変換できる場合がありま。 す。詳しくは、http://www.jvc-victor.co.jp/pro/avc/product/avp960/download.html をご覧ください。
 - カードを入れずにデータを選択した場合、出力画像は黒くなります。
 - SDカードに保存された画像は、明るさ、フォーカスの操作はできません。

SD カードの画像サイズ / 位置調整

SDカードの画像を拡大・縮小 (デジタルズーム6倍)および上下左右移動することができます。



パソコンと USB 端子でつなぐ

パソコンと接続することにより、SDカードに保存した画像データや、画像メモリーなどの本体に保存された画像データをパソコンに取り込むことができます。



ご注意

- パソコンから本機をとおしてSDカードを フォーマットしたり、SDカードにデータを書き 込むことはできません。
- 本機には、時計機能がないため、画像ファイルの時間は全て、2006年1月1日午前0時となります。
- USBケーブル接続中にSDカードを抜き差ししても、パソコン画面上の画像データの表示は変化しません。表示を変えたい場合は、一度USBケーブルを抜いて、SDカードの抜き差しを行ってから、再度USBケーブルを差し込んでください。
- 下記の操作でパソコンのリムーバブルディスク内の画像ファイルを変更することができます。 (SDカード/画像メモリー)
 SDカードの画像ファイルに変更する場合・
 SDカードボタンを押しながら約1秒間初期設定ボタンを押します。
- 画像メモリーの画像ファイルに変更する場合 ・カメラボタンを押しながら約1秒間初期設定 ボタンを押します。
- ボタン操作や、リモコン操作中にUSBケーブルの抜き差しはしないでください誤作動する場合があります。



■ 接続可能パソコン

OS : Windows Me/2000/XP

■はじめて接続したとき

Windowsのプラグアンドプレイにより本機を認識するため に必要なドライバーを自動的にインストールします。 画面の手順にしたがってインストールしてください。(2回目 以後に接続したときは、表示されません。)

■ 操作方法

1. 電源を入れる

本機およびパソコンの電源を入れます。

2. USBケーブルで接続

● ケーブルの抜き差しは、ゆっくり確実におこなってください。

3. 画像データの確認

画像データは下記のように「100JVCAV」フォルダに JPEG画像として保存されています。

〈SDカードが入っている場合〉

● SDカードに保存されている画像データが表示されます。

マイコンピューター

Lリムーバブルディスク LDCIM L100JVCAV HIMAG0001.JPG

〈SDカードが入っていない場合〉

本体に保存されている画像データが表示されます。
 (画像メモリー1~3、静止画)

4. 画像データの取り込み

パソコンのビューアーソフトを利用し、画像を確認後、デー タをパソコンに取り込みます。 取り込み方法は、使用パソコンの「取扱説明書」を参照してく ださい。

リモコンによる操作

(別売)リモコンにより下記操作がおこなえます。



❶ [カメラ] カメラ画像を出力します。

(1166ページ5ソース選択ボタン)

2 [フリーズ]

カメラ画像を静止画にします。 (☞6ページ④フリーズボタン)

③ [外部入力]

外部入力端子に接続した機器の映像を出力します。 (1166ページ・シリース選択ボタン)

- ④ [SDカード]
 - SDカードに関する操作をおこないます。 SD画像以外の画像を表示中にこのボタンを押すとSD 選択モードとなります。 (☞6ページ・5ソース選択ボタン)
- 6 [明るさ] カメラ画像の明るさを調整します。

(116ページ29明るさ調節ボタン)

- **6** [フォーカス] カメラ画像のピントを調節します。 (☞6ページ3フォーカスボタン)
- 1 [縮小/拡大] カメラ画像を縮小、拡大します。 (啄6ページ①サイズ調節ボタン)
- - ホワイトバランスを自動で調整します。 (137ページ(14ホワイトバランス調整ボタン)

※詳細な機能は6ページを参照してください。

■受光範囲について

受光距離は約5 mです。 上下方向に±15度、左右方向に±30度

(別売)リモコンには、電池が付属されていません。別売の XE. 単3乾電池を2本入れてご使用ください。



LCD モニターの取り付け

別売のLCDモニター(TA-LC561A)とモニター出力端子をつなぎます。画角調整用に使うと便利です。



- LCDモニター取付金具(別売:AV-ZK20) を、金具に添付のネジを使って、LCDモニ ターに取り付ける
- **2.** LCDモニター取付金具(別売:AV-ZK20) を金具に添付のネジで本機に取り付ける
- **3.** LCDモニターと本機モニター出力端子を ビデオケーブルにつなぐ
- **4. LCDモニターの電源を入れる** (使用LCDモニターの「取扱説明書」をご覧ください)
- 5. 角度調節ネジで見やすい角度に調節する

故障かな?と思ったら

下表の内容をお調べのうえ、なお異常があるときはご使用を中止し、お買いあげのお店か最寄りの弊社営業所にご連絡ください。

現象	この点を確認してください	参照ページ
画像が出ない	 ・電源プラグが壁側のコンセントからはずれていませんか。 	
	・電源スイッチが入っていますか。	10
	・プロジェクターやディスプレイと正しく接続されていますか。	10
	・明るさの設定は適切ですか。	6
	・画像オフモードになっていませんか。	7
	・メモリーに画像を記憶せずに、選択していませんか。画像を記憶してから選択し	16
	てください。	
	・ソース選択の「外部入力」や「SDカード」が選択されていませんか。「カメラ」を選	6
	択してください。	
	・XGA対応のプロジェクターやディスプレイを使用していますか。	10
画像のフォーカスが合わない	・クローズアップレンズはついていますか。	5
	・原稿被写体がレンズに近すぎ、ステージ面から50 mm以上の高さになってい	
	ませんか。	
	・クローズアップレンズを付けたまま周囲の被写体を写していませんか。周囲の	13
	被写体を写すときはクローズアップレンズをはずしてください。	
	・フォーカスを合わせた後、サイズを拡大していませんか。フォーカス合わせはサ	
	イズを拡大した状態でおこなってください。	
	・フォーカスの「自動」の場合、被写体によってはフォーカスが合いにくい場合が	6
	あります。フォーカスの④, 「「ボタンで合わせてください。	
	・プロジェクターをご使用の場合、プロジェクターのフォーカスは合っています	
	か。プロジェクターの取扱説明書を参照して、フォーカスを合わせてください。	
画像がかすむ	・クローズアップレンズ、またはカメラレンズが汚れていませんか。市販のカメラ	
ゴミが写る	用のレンズクリーナーで清掃してください。	
画像が暗い		
	くなるのに数分かかることがあります。	
	・サイド照明は点灯していますか。	C
	・明るさの設定値は適切ですか。	6
印刷物の画像に縞模様がでる	・印刷物の網点とカメラ撮像素子の画素が干渉して色縞が発生する場合がありま	11
	す。このようなときは、「サイズ」ボタンで画像サイズを少し変えて下さい。	
色調がおかしい	・ 「ホワイトバランス」で色調を合わせましたか。	7
	・ネガモードになっていませんか。	7
画像にビートが出る	・強い電波を発生する機器の近くで使用する場合、画像にビートが生じる場合が	
	ありますので、発生機器から遠ざけてください。	
画像がちらつく	・電源周波数が50Hzの地域では、けい光灯や水銀灯などを使用していると、画面に	
	ちらつきが発生する場合があります。サイド照明を点灯して使用してください。	
画像の調整ができない	・「フリーズ」「画像メモリー」「外部入力」「SDカード」が選択されているときは、カ	6,7
	メラ画像の調整はできません。一度「カメラ」の画像に戻してから、調整してくだ	
	さい。	
	・明るさが不足している場合、明るさ調整をしても動作しにくい場合があります。	7
	「照明」ボタンを押してサイド照明を点灯させてください。	
ボタンを押しても動作しない	・同時に2つのボタンを押したり、ボタンを連打したりすると、正常に動作しない	
	場合があります。ボタン操作は、1つずつ間隔をあけておこなってください。	
リモコンがきかない	・リモコンに電池が入っていますか。	
	・電池が消耗していませんか。	11
	・使用可能な範囲外で操作していませんか。	23
カメラ画像に白点または黒点	・動画対応高画素CCDの特性上、まれに白点や黒点が現れ、デジタルズームで拡	
がある	大すると目立つ場合があります。	

その他

保証とアフターサービス

保証書の記載内容のご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上 げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容を ご確認いただき、大切に保存してください。

● 保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。 保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理致します。 なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。 故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。 その他詳細は保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談 ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご 要望により有料にて修理いたします。

● メンテナンス契約のご案内

本機は、機械的可動部分を持つため定期的な保守、点検が必要 です。安心してご使用いただくためメンテナンス契約されるこ とをおすすめします。詳しくはお買い上げの販売店又は最寄り のビクターサービスにご相談ください。 アフターサービスについてのお問い合わせ先 その他アフターサービスにご不明の点は、お買上げ販売店又は、別紙ビクターサービス窓口ご案内をご覧のうえ、最寄りの ビクターサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

調子が悪いときは、この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べ ください。簡単な調整で直ることがあります。それでも具合が悪いと きは、お買い上げ販売店又はビクターサービスにご相談ください。

- ・商品名:AV-P960
- ・故障の状態をできるだけ詳しく:
- ・ご購入年月日:
- ・ご住所、ご氏名、電話番号

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適 正に処理してください。

仕様

■総合 電 源 消費電力 質 量	AC 100 V 50 Hz / 60 Hz 35 W 5.6 kg	■照明部 サイド照明 バック照明	6 W × 2(インバー夕点灯) 4 W × 1(インバー夕点灯127 mm × 100	mm)
■光学部 撮影レンズ 撮影範囲 焦点調節可能範囲 ズ ー ム フォーカス 明 る さ	F1.8~F2.8 f=5.4 mm~64.8 mm(12倍) 最大:400 mm×300 mm(A3横相当) ステージ面~ステージ面上50 mm(カメラ下向 き、クローズアップレンズ有) ∞~0.8 m(カメラ横向き、クローズアップレンズ無) 光学16倍(レンズ12倍×伸縮アーム1.4倍) ×デジタルズーム6倍 オート/マニュアル オート/マニュアル	 入力端子 入力端子 制御端子 制御端子 ■環境条件 温度 度 	外部入力(D-SUB15ピン メス) RGB(D-SUB15ピン 0.7 V(P-P)、75 Ω メス) モニター(RCAピン 1 V(P-P)、75 Ω) USB(Series B) SDカードシステム リモート入力(D-SUB9ピン RS-232C オス) 5 ℃~40 ℃ 30 %~85 %	×1 ×1 ×1 ×1 ×1 ×1
 カメラ部 出力動作モード 撮像素子 縦画素 支 解 像 度 フレームレート オワイトバランス 	プログレッシブモード ・1024×768 H:48.4 kHz / V:60.0 Hz インターレスモード NTSC/PAL切換 ・NTSC H:15.734 kHz / V:59.94 Hz ・PAL H:15.625 kHz / V:50 Hz 1/3 型 CCD 85 万画素(水平1077×垂直788) RGB 出力: 水平 600 本以上 垂直 600 本以上 モニター出力: 水平 500 本以上 垂直 350 本以上 20 fps 内部同期 オート/マニュアル	 ● 付属品 取扱説明書 ビデオコード(5 電源コード(2. ビクターサービス: 安全上のご注意 保証書 ■ 別売品 LCD モニター(T LCD モニター(T LCD モニター取付 リモコン(QALO) 	×1 5m) ×1 窓口案内 ×1 ※1 ×1 ×1 ×1 ×1	
みカ選択 ■ 外形寸法図 (単	可能(内蔵カメラ/外部入力/ SD カード) 位:mm)			
		Ĭ		





本機ならびに関連商品の仕様及び外観は、改善のため予告なしに変更することがあります。



〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話 (0426) 60-7203

© 2006 Victor Company of Japan, Limited

Printed in Thailand LWT0150-001C-H